

Rotary: Serving Humanity



半田南ロータリークラブ

●創立: 1980.2.12 ●認証: 1980.2.25

■会長／山本 慎治 ■幹事／蜷川 勝己 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546

2018-2019

- 司 会 S.A.A 植原顕太郎君
- ソングリーダー 植原顕太郎君
- 国 歌 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ピアノ 中田 美由紀さん
- ゲスト

国際ロータリー第2760地区 2018-2019年度
南尾張分区ガバナー補佐 熊澤 岚君



国際ロータリー第2760地区 2018-2019年度
地区副幹事 富田 佳央君



国際ロータリー第2760地区 2018-2019年度
地区スタッフ 山本 貴浩君



国際ロータリー第2760地区 2018-2019年度
南尾張分区 分区幹事 日高 啓治君
米山獎学生 オトゴンバヤル ビレゲンさん
米山獎学生 スレイン チャンディーさん
●ビジター 加藤 知成君 (東知多RC)
高木 利定君 (半田RC)

会長挨拶

挨拶文はホームページの会報で閲覧できます。

会長 山本 慎治君

●出席委員会

第1837回例会 10月2日 (火) 天気 (晴)
本日の例会は27名の出席にて、出席率は84.43%です。
なお、前々回は6名のメーキャップにて100%に訂正します。

●Smiling Box

ガバナー補佐 熊澤嵐君／分区幹事 日高啓治君 10,000円
2760地区 ガバナー事務所 10,000円

永田 明世君 堀田さんにお世話いただきました。松茸づくしの旅、楽しかったです。台風の進路を気にしながらでしたが。

近藤 敏通君 ガバナー補佐をお迎えして

石川 信行君 今年は台風が多くて仕事上大忙し、喜んで良いのか?

竹内 俊郎君 ガバナー補佐をお迎えして

石川 勝彦君 ①日本人として2年ぶりノーベル医学生理学賞を京都大学の本庶佑氏が受賞されました。「何事も好奇心」を持ち続ける事、何事も信じない、自分でも確認、一味違いますね!

②貴乃花親方がついに引退、平成10-14年名古屋場所時に半田に居ました。昔を知る人として「なるべくしてなった」と感じました。弟子を千賀の浦部屋へお願いしたのが唯一の救いです。

③父親以上に大切な人が亡くなりました。人は亡くなつてから偉大さが分かる事に気づきました。ご冥福を祈ります。

④熊澤ガバナー補佐、訪問歓迎します。後半ですが、所用の為、早退します。ゴメンナサイ!

ガバナー補佐熊澤 嵩様、分区幹事日高 啓治様、ようこそお越しいただきました。お役目ご苦労様です。クラブ協議会お手柔らかにお願い申し上げいたします。

熊澤嵐ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひいたします。

熊澤ガバナー補佐ようこそ半田南クラブへ来訪くださいました。卓話を大変楽しみにしています。宜しくお願ひ申し上げます。

本日はガバナー補佐訪問です。ガバナー補佐熊澤嵐君、地区副幹事、富田佳央君、地区スタッフ山本貴浩君、分区幹事日高啓治君、半田南クラブへようこそ。今日は宜しくお願ひいたします。

合計11名 43,000円

卓 話

演 題 「ガバナー補佐訪問」

演 著 南尾張分区ガバナー補佐 熊澤 嵩君

次回の例会

第1839回例会

ガバナー公式訪問
10月16日 (火) 於: 半田商工会議所

2018/10/02

第11回 会長挨拶

本日は、ガバナー補佐訪問を受けました。
例会終了後、クラブ協議会を開催し各委員長より多くの意見を頂き大変内容のあるクラブ協議会であったと思います。
中でも、会員増強について大変参考になる意見交換ができたと思います。
今回は、会員増強について触れてみたいと思います。

会員増強・ロータリーの拡大について

会員増強の「増」は会員の量を増やすことであり、増強の「強」は会員の質を高めること即ち、会員の内なる人を強くする、内なる心を磨くことあります。

これにはロータリーの教育が絶対条件であります。しかるに、現在、ロータリアンの教育はあまり行われて居ません。

この様な状況では、会員の増「強」は不可能であります。会員の質を高めることなくして真の会員増強はあり得ません。会員の量の増大のみを求めて、結果的には会員は減少します。

最新の RI の情報では、一昨年引き続いて会員は減少しています。これが今、RI の大きな悩みになっているのであります。

会員の減少の原因は何か。社会の不況か。否。アメリカは好況であるにも拘らず会員は減少しています。最大の原因は、ロータリーに魅力がなくなったことであります。

何故。ロータリーに魅力がなくなったのか。ロータリアンがロータリーの心を忘れているからであります。私たちの先輩は、ロータリーの歴史を通じて、一貫してロータリアンの魂の浄化、心を磨くことを心がけてきましたのであります。

イギリスでは、「ロータリーは、人間の魂の在り方の問題である」と言われているように、ロータリーの第一義は、心の開発であります。そこにロータリアンは、誇りをもつたのであります。

したがって、ロータリアンが、もう一度この誇りを取り戻さずして、ロータリーの魅力を回復することはできないと思うのであります。

以上会員増強について触れさせて頂きました。

参考文献

2013年9月 雑誌・ロータリー情報委員会
「純ちゃんコーナー」(ロータリー3分間情報)
伊丹ロータリー 深川純一 より